

熊本大学拠点形成研究 B

閉鎖性海域における
豊かな自然環境・
社会環境創生のための
先端科学研究・教育の
拠点形成

熊本大学拠点形成研究プロジェクト

プロジェクトメンバー紹介

逸見 泰久 拠点リーダー

センター長・教授 沿岸域環境科学教育研究センター
干潟・浅海域の底生動物の生態学的・行動学的・水産学的研究

1. 底生動物(甲殻類・二枚貝・ナメクジウオなど)の繁殖生態
2. 甲殻類(スナゴエ類など)の行動生態
3. 沿岸域の保全、特に干潟・塩性湿地の生物多様性保全と懸命な利用
4. 二枚貝(ハマグリ・タイラギなど)の資源量回復と資源管理
5. 国や地方自治体の委員としての活動



Keyword カニ類・二枚貝類・生物多様性・干潟や塩性湿地の保全・水産資源の持続的利用

中田 晴彦 拠点サブリーダー

准教授 自然科学研究科(理)

化学物質と環境に関する調査研究

1. 閉鎖系水域における有害化学物質の汚染と生物濃縮に関する研究
2. 大規模自然災害による化学物質の流入負荷と長期リスク評価システムの構築
3. 水溶性難分解物質をトレーサーにした地下水汚染メカニズムの解明
4. 国外の環境調査研究—ベトナム・フィリピン・ミャンマー—など
5. 自治体等における社会活動



Keyword 有害化学物質・環境汚染・リスク評価・底質浄化・国際環境研究

瀧尾 進

教授 沿岸域環境科学教育研究センター

養殖ノリと干潟植物のストレス耐性機構と海藻(海草)に付着する有用細菌の解析

1. 養殖ノリ(スサビノリ)の環境ストレス応答機構
2. 塩性植物(ハマツツナ)のストレス防御遺伝子の解析
3. 藻場海草(アマモ)や養殖ノリに付着する有用細菌の解析



Keyword 養殖ノリ・塩性植物・藻場海草アマモ・共生細菌・遺伝子・水産資源の開発

秋元 和寛

准教授 沿岸域環境科学教育研究センター

水中・水底環境の高精度解析：
音響機器とロボットによる環境情報の3次元可視化

1. 化石を用いた近世—現代の環境の復元と人為的影響の解析
2. 濃基災害地における環境変遷の解析
3. 閉鎖性内湾における環境の3次元解析



Keyword 音響・ロボット・連続観測・3D可視化・生物生息環境・海象災害・環境変遷解析

嶋永 元裕

准教授 沿岸域環境科学教育研究センター

海底環境変化がメイオバントス群集に与える影響の把握

1. 大型底生生物の巣穴が、メイオバントスに与える影響評価
 2. 貧酸素水塊が、海底環境や生物群集に与える影響評価
 3. 超深海や熱水噴出域のメイオバントス群集の研究
 4. その他
- *メイオバントス……体長0.031~1mmの微小底生生物。線虫類やソコムジンコ類などの最少サイズの多細胞動物が含まれている。環境評価に利用。



Keyword 海洋環境・メイオバントス・生物群集生態

森村 茂

准教授 自然科学研究科(工)

微生物機能を利用した
環境評価および環境浄化に関する研究

1. 元素循環機能の解明
2. 地下水における脱窒機構の解明
3. 環境汚染物質の微生物分解システムの構築
4. 食品の機能性と微生物の関係に関する研究



Keyword 微生物・生態系・元素循環・環境汚染物質の分解・DNA解析

岩崎 竹彦

准教授 五高記念館

高度経済成長期以降の生活文化研究

1. 現代社会における儀礼文化研究
2. 生活に係る物質文化研究
3. 歴史写真にみる生活文化の研究
4. 柳田國男研究



Keyword 民俗文化・生活文化・伝統・現代

田中 尚人

准教授 政策創造研究教育センター

公共空間デザインやまちづくりに対して防災・環境・景観に関する政策立案を行うための実践的な研究

1. 農村漁村景観の規範形成に関する研究
2. 中心市街地におけるコミュニティ・アセット・マネジメント研究
3. 微地形の解析に基づく水辺の都市形成史研究
4. インフラストラクチャーに対する愛着形成の事例研究
5. 参加による地域アイデンティティの醸成プロセス研究



Keyword 文化的景観・都市地域計画・景観まちづくり・土史・水辺デザイン論・風土論

星野 裕司

准教授 自然科学研究科(工)

社会基盤の新しい可能性を実現する景観デザイン／都市デザイン

1. 土木施設の特徴を魅力的に引き出す景観デザイン
2. 街の中にさまざまな居場所をつくる都市デザイン
3. 多様な意味・機能を産み出す空間デザイン
4. 風景体験の意味を考察する風景論的探究
5. 社会基盤施設の実現プロセスに関する歴史的考察



Keyword 土木デザイン・ランドスケープデザイン・景観論・風景デザイン史

皆川 朋子

准教授 自然科学研究科(工)

河川環境の保全・復元に関する研究

1. 生態系に配慮した川づくり(多自然づくり)、自然再生に関する研究
2. 氾濫原依存種の保全手法に関する研究
3. 地質・地質構造が河川構造、生態系に及ぼす影響の解明
4. 人為的改変が河川生態系に及ぼす影響の解明と修復手法に関する研究
5. 環境教育—地域住民の財産となる川づくりを！—
6. 国や地方自治体の委員としての活動



Keyword 河川環境・河川生物・多自然川づくり・自然再生・環境教育

発行 熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1 Tel.096-342-3143 Fax.096-342-3010
E-mail szk-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp Web http://engan.kumamoto-u.ac.jp/

熊大沿岸

検索